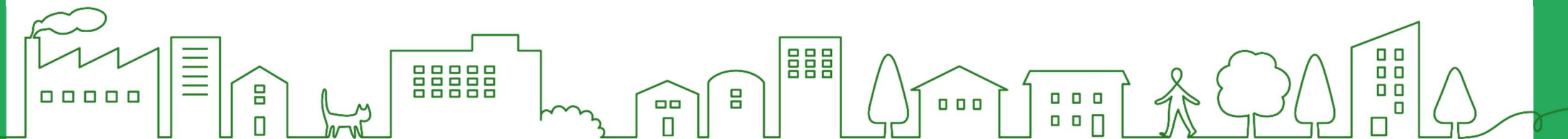


みんなで繋ごう



未来の農地マップ

～地図で農業をつなぐ～



Contents

01	中測技研について	…	2-4	04	その他導入機能	…	22-24
02	地域計画策定の取り組み	…	5-11	05	協力会社について	…	25-26
03	未来の農地マップについて	…	12-21	06	Q&A	…	27-29
	03-1概要	…	12-13	07	結びに	…	30-31
	03-2システム構成	…	14-15				
	03-3目標地図	…	16-17				
	03-4貸出売買意向地図	…	18-21				



01

中測技研について





会社紹介

空から描く 未来の羅針盤

DRAWING THE FUTURE'S COMPASS FROM ABOVE

会社概要

● 会社名：株式会社中測技研

● 本社：愛知県
名古屋市南区明治一丁目14番28号

● 資本金：5,000万円

● 設立：昭和59年12月

事業内容

- 空中写真測量
- 地上測量
- 台帳作成・更新
- GIS開発
- GISコンサル
- 会議ファシリテーター
- その他



システム導入実績

愛知県



統合型GIS

蒲都市 豊明市 知多市 長久手市

公開型GIS

常滑市 幸田町 蒲都市 豊明市 東郷町
長久手市 知多市 清須市 岩倉市 弥富市
愛西市 尾張旭市 田原市 豊橋市 南知多町
津島市

個別GIS

南知多町 常滑市 知多市 東浦町 碧南市
幸田町 蒲都市 豊根村 知立市 豊明市
東郷町 日進市 長久手市 尾張旭市 弥富市
蟹江町 清須市 岩倉市 愛西市 田原市
豊橋市

県内実績No.1

02

地域計画策定の取り組み



地域計画実績紹介

田 原 市

豊 橋 市

蒲 郡 市

南 知 多 町

東 郷 町

業務内容

サポートシステム

アンケート

トータルサポート

目標地図作成
目標地図素案

座談会
(ファシリテーター)

アンケート

1 回目座談会
将来像

2 回目座談会
目標地図

地域計画案

関係機関への
意見徴収

地域説明会

案公告・縦覧

策定公告
地域計画の



地域計画を通して

モデル自治体概要

【モデル自治体様】

モデル : 愛知県蒲郡市

行政面積 : 56.92 km²

人口 : 約74,000人

主要作物 : みかん

【座談会】

地区数 : 8地区

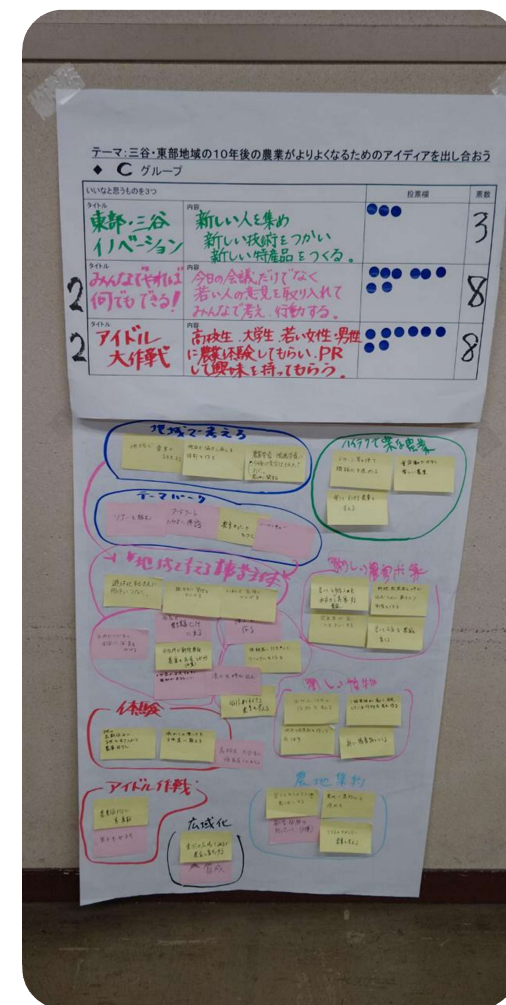
座談会 : 1地区 : 2回(将来像+目標地図)



1回目 将来像の座談会

●●地区の
10年後の農業がよりよくなるためのアイデアを考えよう！！

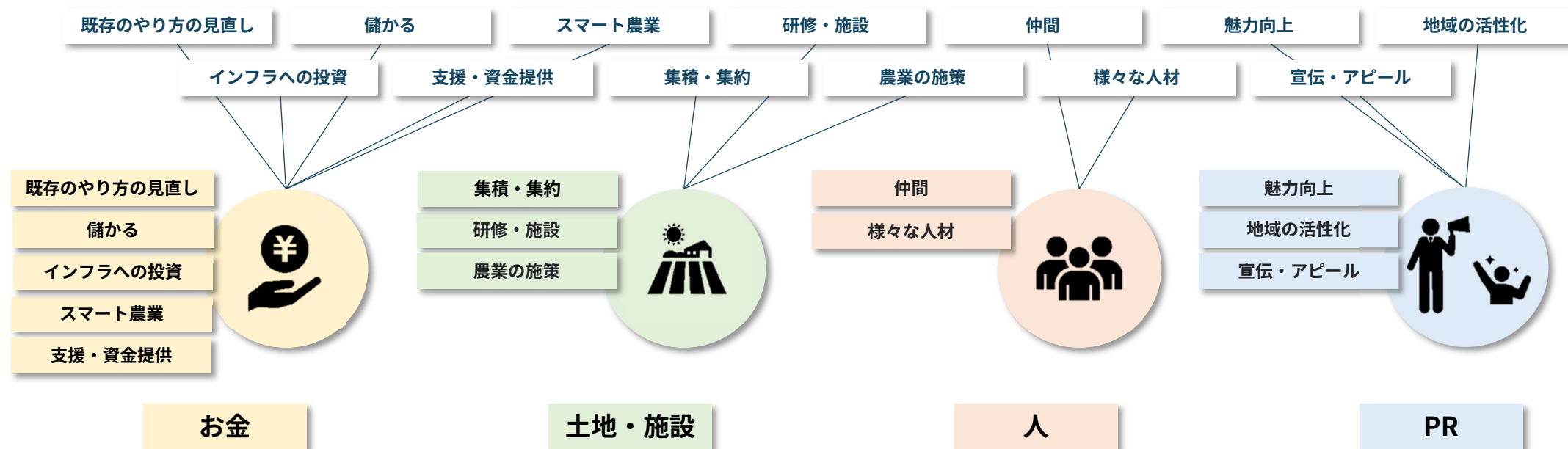
アイデア出し ⇒ グループ共有 ⇒ 発表 ⇒ 投票



02

農業の未来会議 アイディア分析

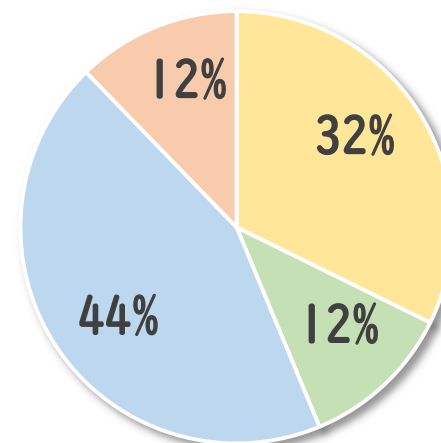
付箋に書かれた「思い・アイディア」を集計・分析をすると、下記のグループに分けられます。



最終的には
グループ化すると**4つの**グループに
分類されることがわかりました。



分類別グラフ



総数【2448】

■ お金【790】

■ 土地・施設【280】

■ PR【1078】

■ 人【300】



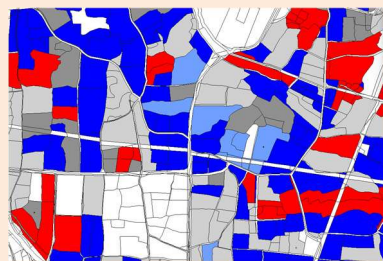
目標地図を作成するために

01

アンケート結果から着色した意向地図

意向地図

(座談会で使用する地図)



sample

今後の意向 (10年間)

・耕作者 : 有	■
・残り貸借期間 (10年以上)	■
・耕作者 : 無 ・貸出希望 : 有	■
・耕作者 : 無 ・貸出希望 : 無	■
・意向未確認	■

02

座談会後の付箋を反映させた地図の作成

意向地図 (座談会内容反映)



sample

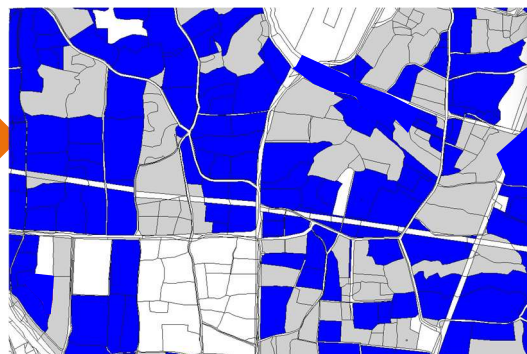
座談会で使用した意向地図

+

- 耕作者と農地所有者の意向を確認した農地
- 座談会に参加した方が耕作の意向を示した
- 話し合いの場にはいないが耕作者候補があった

03

目標地図の作成



sample

今後の意向 (10年間)

今後10年確保できている予定耕作者有・残りの貸借10年以上耕作者に変更	■
上記以外	■

Point

※トラブル回避のために

座談会には参加していない地権者・耕作者がいるため、座談会の意向を目標地図に反映するのは危険です。

自分の知らないところで自分の農地の色が塗られているなどがないよう10年後安心の農地=青、それ以外=灰色としています。



地域計画を通して

担い手不足という大きな課題

地域計画を通し、将来の農業について担い手不足(後継者不足)という大きな課題が浮き彫りになりました。

付箋に書かれた「思い・アイデア」を整理すると、ほとんどのものが担い手（後継者）不足の対策につながっている。

新規就農

作付面積拡大

担い手不足
(後継者)

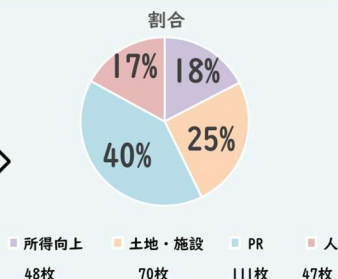
A～Mをグループ化すると
下記の4つに分類される

所得向上

土地・施設

PR

人



A：既存のやり方の見直し

B：スマート農業

C：集積・集約

D．儲かる

E．支援

F．インフラへの投資

G．研修・施設

H．農業の施策

I．魅力向上

J．地域の活性化

K．宣伝・アピール

L．仲間

M．様々な人材

Point

「未来の農地マップ」

「担い手不足の解消」
「耕作放棄地の削減」
「農地のマッチングの促進」
「職員の事務作業の軽減」等



を目的とし、地域農業の発展に繋がります。

03-1

未来の農地マップについて ～概要～



未来の農地マップ概要

「未来の農地マップ」は他自治体と連携を図り、GISを活用した地域計画に係わる業務の負担軽減及び担い手不足解消・新規就農者の情報提供ツールとなることを目的としています。

導入自治体

蒲郡市 豊橋市
田原市 南知多町



2つの地図



目標地図

公開型GISを活用

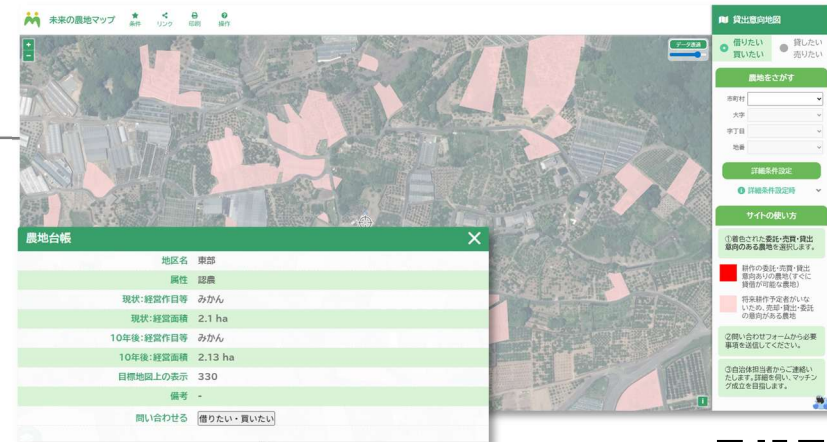


貸出・売買
意向地図

農地バンクのDX化

Point

- ✓ 職員作業のDX化
- ✓ 農地の貸借・売買がもっと気軽に
- ✓ 関係機関での情報共有ツールとして活用
- ✓ 新しい地方経済・生活環境創生交付金の補助金が活用できる



蒲郡市目標地図



03-2

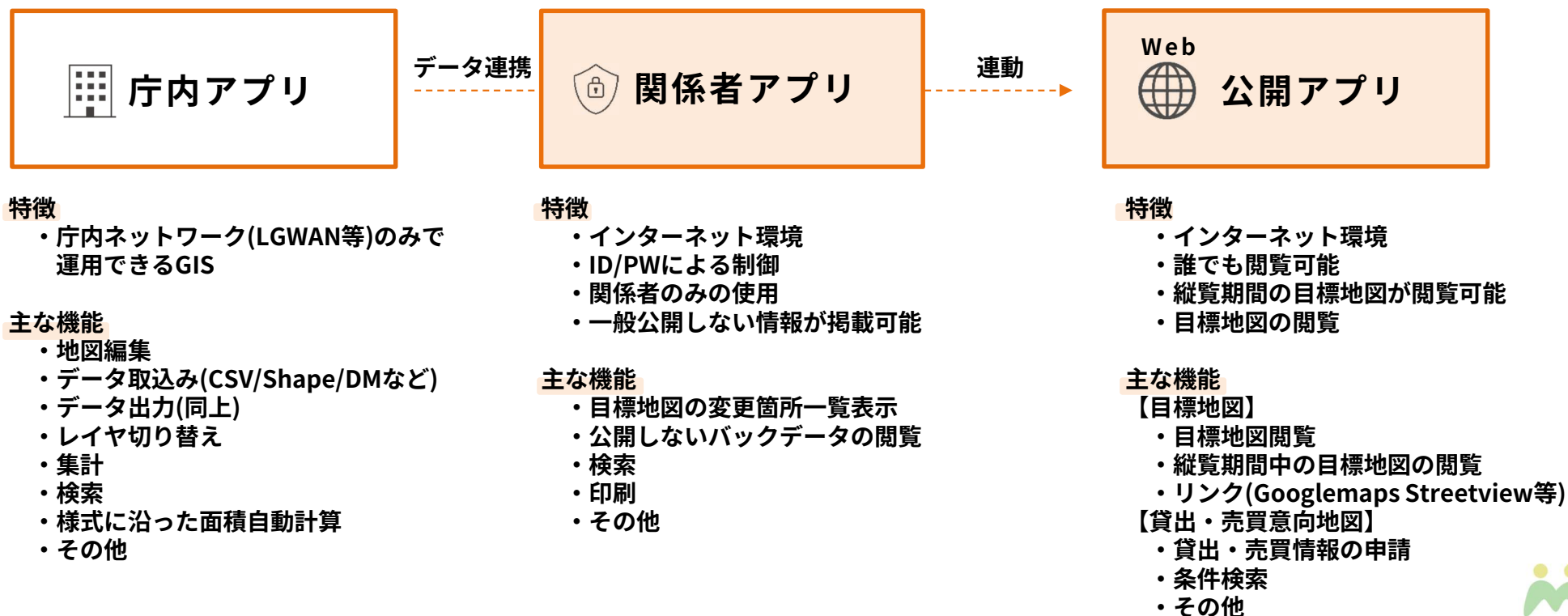
未来の農地マップについて ～システム構成～



システム構成

アプリケーションの種類と構成

未来の農地マップ



03-3

未来の農地マップについて ～目標地図～



システム説明～目標地図～



目標地図

目標地図更新業務の簡素化

●…今までの更新作業

●…これからの更新作業



庁内アプリ

サ
ポ
ー
ト
シ
ス
テ
ム
更
新

①変更リスト作成

①関係者アプリで自動生成

②変更箇所が

わかるように着色

②どのような変更なのか

自動で配色されて明確に

③人数分出力

③Web上で閲覧可能で不要に

④様式5-2の面積見直し

④自動面積集計で楽々集計

関
係
機
関
へ
の
意
見
徴
収



関係者アプリ

紙資料又はPDFがメイン
システム上で閲覧可能に

①地区別でPDF変換

①地区別表示が可能で
地図を分ける
必要なし

②HP差し替え

②Web上で閲覧可能で不要に

③ 2週間後再度差替え

③設定一つで縦覧期間も自動更新



公開アプリ

縦
覧
・
公
告

一
連
し
て
シ
ス
テ
ム
で
完
結
!



03-4

未来の農地マップについて ～貸出・売買意向地図～



システム説明～貸出売買意向地図～



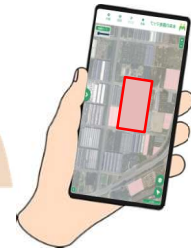
貸出売買意向の申請をもっと身近に

ここの農地を貸したい

ここの農地を借りたい



スマートフォン等の端末から貸す・売る農地を選択



職員様PCにメールでCSV形式が届き、庁内アプリにインポート

貸す・売る

掲載判断を職員が行い、貸出・売買意向をクラウドへ一括同期

借りる・買う

職員様が仲介に入りマッチングの成立の補助に入る

Point

公的機関である職員様が仲介に入ること、利用者様に安心と信頼をお届けします。



システム説明～貸出売買意向地図～

電子で
簡単申請

問合せフォームは自治体の必要な情報を集約

出し手情報

受け手情報

貸出・売渡希望申請フォーム		耕作希望申請フォーム		意向
登録者基本情報		登録者基本情報		購入/賃借 *
申請者氏名 *		氏名 *		購入して耕作したい
住所 *		住所 *		
電話番号 *		電話番号 *		予定している用途
メールアドレス		メールアドレス		地目 *
所有者氏名 *所有者本人以外の申請の場合		年齢		田
所有者との続柄 *所有者本人以外の申請の場合		農業経験年数		作付予定作物
		未経験		キャベツ
				作付予定作物 (その他)
				その他の作付予定作物
				有機農業について
				特になし
				送信

※ 問い合わせフォームは構築中のサンプルデータになります。



システム説明～貸出売買意向地図～



貸出売買意向の申請をもっと身近に



愛知県が構築する農林漁業就業支援プラットフォームにもコンテンツの一つとして未来の農地マップの掲載が決定しました。

一つの自治体様だけではなく、県や複数の自治体様で導入することで、認知度を向上させ、掲載自治体の増加・システム利用者の増加につながり農地の流動性を高めます。

- ・ 電子で簡単申請＝来庁機会の軽減・ペーパーレス化
- ・ 利用目的が明確な地図コンテンツによる利用満足度・認知向上
- ・ 農業の活性化・農地の流動性向上・住民サービスの向上
- ・ 現地確認が安易(GoogleMap・Streetviewとの連携が可能)

最新の情報が
スマホ・PC等
どこからでも閲覧可能



04

その他導入機能



農用地証明申請機能

未来の農地マップで農用地が閲覧可能に



※紙様式の印刷の可能となっ
ているため、手数料条例に
も考慮済み。

※窓口タッチパネルを導入でさらなる効率化



窓口用タッチパネルから
同様の流れで申請が可能になります。

タッチパネルを活用し窓口に来庁した
お客様と一緒に申請できます。

※同様にメールが届き、CSVで取り込みできるので**入力作業不要**

農用地に該当している部分の
割合を出すことが可能です。

職員と住民
の
作業削減

農用地証明書
自治体独自の様式
で自動作成可能
簡単・手間なし



その他機能(オプション)



共同公告マップ

農家の方と共同で作図ができる
「共同公告マップ」

イベントやお得な情報を
入力することができる機能を搭載



鳥獣被害報告マップ

農家の方と共同で作図ができる
「鳥獣被害報告マップ」

被害報告等や対策方法等が
閲覧できます。



農地通報マップ

「農地通報マップ」

遊休農地等の報告や雑草の報告等
が行えます。



05

協力会社について



協力会社について



株式会社スペースシフト

遊休農地を自動で判別、調査業務を最大90%削減!

2種類の衛星データ(光学 + SAR)をAIで高精度に解析し、
10段階スコアで“行くべき場所”を可視化できます。

農業委員会サポートシステム/eMAFF現地確認アプリに連携
することが可能です。



未来の農地マップにAI解析した10段階のデータを取込むことにより、高度な集計・着色・検索の他、関係者アプリで関係者のみの共有も可能となります。

10段階評価のうち、4.5.6評価の遊休農地確立が比較的高い農地のみを抽出等といったことも可能です。

06

Q & A



Q & A

Q1：現在別の業者でGISを管理しているため、乗り換える形になりますか？

A1：統合型GISや個別でGISを導入されている場合がございます。

統合型GISの場合は、未来の農地マップを別物として導入いただく事例が多いです。また、個別GISの場合は、乗り換えていただく方が業務効率化・費用対効果の面でおすすめていたします。

Q2：サポートシステムで管理しているけど導入可能ですか？

A2：可能です。弊社では、地図について固定資産関係部署で更新されている地番現況図を使用するため、サポートシステムで地図管理されていない自治体様でもご対応させていただきます。

Q3：貸出売買意向地図のみ導入したいけどできる？

A3：可能です。



Q & A

Q4：補助金等使えますか？

A4：はい。【新しい地方経済・生活環境創生交付金】を活用し、全体価格の1/2の補助がつきます。又は広域での申請ですと2/3の補助額が出る可能性があります。

Q5：愛知県以外の都道府県で導入したいけど誰に連絡すれば良いですか？

A5：まずは弊社【株式会社中測技研】にご連絡ください。



07

結びに



未来の農地マップは幅広い方にご使用いただけます。

【現在農業をしている方】



- ・ 目標地図の閲覧
- ・ 地域の空き農地の把握

【自治体】



- ・ 更新作業を簡素化
- ・ 情報提供の充実、農業の活性化

【新しく農業を始めたい方】



- ・ 空き農地の確認
- ・ 水、施設の有無、農地の現状の確認

【JA】



- ・ 貸したい借りたい人の支援をこのシステムを通じて行う

【農地を貸したい方】



- ・ 多数の人が見る場に情報提供したい
- ・ 自分の農地状況を伝えられる

【土地改良区】



- ・ 水の状況等情報を提供することで農地の効率利用に役立てる



自治体だけでなく、
農業関係者の皆さんが使用する
システムを目指します。

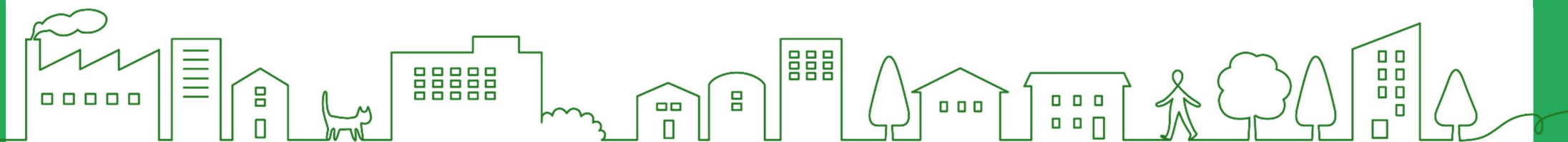


みんなで繋ごう



未来の農地マップ

～地図で農業をつなぐ～



お問合せ

株式会社中測技研

未来の農地マップ担当者：平岡 貴士

TEL：052-694-3121

Mail：atsushi_hiraoka@chusoku-giken.co.jp

